

HP専用チケット一覧【2月26日 午後5時】

■ 申込方法 mail(info@akishima-ksk.jp)でお申し込みください。(電話、FAX、不可)

①事業所名 ②会員氏名 ③連絡先 ④チケットNo.と数(区分)

■ チケットのお渡し 申込の際、お伝えします、または郵送します。【振込手数料、送料を考慮しあつ旋料金を設定しています】

詳細は、一覧の下に順番に掲載している各PDF版をごらんください。

事業名 【No】内の番号でお申込みください	在庫		期限	料金・情報
【2407-7】 都内共通入浴券<銭湯>	27		2025年 6月30日	1冊3000円(通常5200円)
【2407-10】 ムーミンバレーパーク1デーパス(こども券)	3		2025年 3月31日	こども 900円 (通常4900円) / 詳細PDFなし
【2411-18】 てもみん	35		4月30日	1set5枚 3000円(通常5500円)
【2502-1】 展覧会『ヒルマ・アフ・クリント展』	10		6月15日	1枚1500円(通常2300円)
【2502-2】 展覧会『ミロ展 Joan Miró』<平日限定>	①20	②10	7月6日	①1500円(通常2300円) ②65歳~1000円(通常1600円)
【2502-3】 展覧会/特別展「古代DNA—日本人のきた道—」	①10	②10	6月15日	①1500円(通常2100円) ②小・中・高校生 400円(通常600円)
【2502-4】 展覧会 相国寺承天閣美術館開館40周年記念相国寺展— 『金閣・銀閣 鳳凰がみつめた美の歴史』	10		5月25日	1枚1400円(通常2000円)
【2502-5】 展覧会/特別展『桜 さくら SAKURA 2025』 —美術館でお花見!—	10		5月11日	1枚700円(通常1400円)

~お知らせ~

※令和8年1月1日より事業参加代金は全て振込になります(窓口での現金取り扱いできません)

代金振込確認後事業所へ郵送または、窓口にてお渡しも可能です。

※窓口、電話対応時間は午前9時~午後5時までです。(土日祝日は休み)

チケットNo : 2407-7

都内共通入浴券

< 銭湯 >

ホームページ専用



- 有効期限 7月1日～2025年 6月30日
- 会員料金 1冊10枚 3,000円(通常料金5,200円)
- 申込方法 mail(info@akishima-ksk.jp)でお申し込みください。(電話、FAX、不可)
①事業所名 ②会員氏名 ③連絡先 ④チケットNo.と数
- 斡旋枚数 27冊(先着順) 1会員3冊枚まで
- チケットのお渡し 申込の際、お伝えします。振込していただければチケットは郵送します。
入金確認後事業所へ郵送します。(振込料、送料分考慮し補助をしています。)

東京都浴場組合に加盟する銭湯約510軒で使用できる、入浴券です。

営業時間や定休日などはホームページでご確認ください。

<参考>

昭島市：富士見湯、昭和湯、三光湯

立川市：梅の湯、松見湯、美保湯、高砂湯

チケットNo : 2411-18



ホームページ専用チケット

- 有効期限 11月～4月
- 会員料金 1セット5枚 3,000円(通常料金5,500円)
- 申込方法 mail(info@akishima-ksk.jp)でお申し込みください。(電話、FAX、受付不可)
①事業所名 ②会員氏名 ③連絡先 ④チケットNo.と数
- 斡旋枚数 35セット(先着順) 1会員5セットまで
- チケットのお渡し 申込の際、お伝えします。振込していただければチケットは郵送します。
入金確認後事業所へ郵送します。(振込料、送料分考慮し補助をしています。)



【内 容】

15分からご利用いただけるカジュアルリラクゼーション部分から全身ケアまでコース、時間をお選びいただけます。
てもみんグループ全店・グローバル治療院でご利用いただけます。

★チケット2枚で約15分間の施術（チェア・ベッド共通「てもみん」の場合）

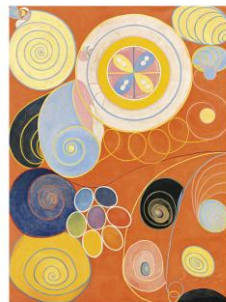
申込No : 2502-1

【 展覧会 】 ヒルマ・アフ・クリント展

ホームページ 専用 チケット

- 会 期 2025年3月4日(火)～6月15日(日) 休館日:月曜日、5月7日(水)※ただし3月31日、5月5日は開館
- 会 場 東京国立近代美術館
- 開館時間 10:00～17:00(入館は閉館の30分前まで) ※金・土曜は20:00まで
- 会員料金 1枚 1,500円(通常料金2,300円) 中学生以下無料(付添者の同伴が必要です)
- 申込方法 mail(info@akishima-ksk.jp)でお申し込みください。(電話、FAX、受付不可)
①事業所名 ②会員氏名 ③連絡先 ④申込No【2502-1】と枚数
- 斡旋枚数 10枚(先着順)
- チケットのお渡し 申込の際、お伝えします。振込していただければチケットは郵送します。
入金確認後事業所へ郵送します。(振込料、送料分考慮し補助をしています。)
- 注意事項 最新情報は、展覧会公式サイトにてご確認ください。
公式ホームページ <https://art.nikkei.com/hilmaafklint>

ヒルマ・



展

2025年3月4日(火)～6月15日(日)
東京国立近代美術館
HILMA AF KLINT: THE ART OF THE FUTURE
2025年3月4日(火)～6月15日(日)

MEMAT

アフ・クリント

【本展の見どころ】

NY・グッゲンハイム美術館で史上最多の60万人が来場！いま世界が注目するアーティストヒルマ・アフ・クリントのアジア初 大回顧展

1906年、スウェーデン。カンディンスキーやモンドリアンより早く抽象絵画を描いた、1人の画家がいた――

その名は、ヒルマ・アフ・クリント(1862-1944)。21世紀の現代に、死後70年を経てついに世界に発見された彼女の作品は大きな評判を呼び、米ニューヨークのグッゲンハイム、英ロンドンのテート・モダンと世界各国の名だたる美術館が競い合うように展覧会を開催。アジア初の大回顧展である本展では、高さ3mを超える10点組の絵画《10の最大物》(1907年)をはじめ全てが日本初公開の約140点を一堂に展示し、謎につつまれたヒルマ・アフ・クリントの画業の全貌に迫ります。

※令和8年1月1日より現金での取り扱いができなくなります。事業の代金については、振込入金のみになります。

申込No : 2502-2

【展覧会】 ミロ展 Joan Miró <平日限定>

ホームページ 専用 チケット

- 会 期 2025年3月1日(土)~7月6日(日) 休館日:月曜日、5月7日(水) ※ただし、4月28日(月)、5月5日(月・祝)は開室
- 会 場 東京都美術館(東京・上野公園)
- 開館時間 9:30~17:30(入館は閉館の30分前まで) ※金・土曜は20:00まで
- 会員料金 ① 1,500円(通常料金2,300円) 高校生以下無料(証明できるものをご提示ください。)
② 1,000円(通常料金1,600円) 65歳以上~
- 申込方法 mail(info@akishima-ksk.jp)でお申し込みください。(電話、FAX、受付不可)
①事業所名 ②会員氏名 ③連絡先 ④申込No.【2502-2】と区分Noと枚数
- 幹旋枚数 ①20枚(先着順) ②10枚(先着順)
- チケットのお渡し 申込の際、お伝えします。振込していただければチケットは郵送します。
入金確認後事業所へ郵送します。(振込料、送料分考慮し補助をしています。)
- 注意事項

※土日・祝日は日時指定予約を推奨します。(当日の空きがあれば入場可)

※平日にご来場の場合は日時指定予約不要。

※高校生以下無料。

※身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその付添いの方(1名まで)は無料。

※身体障害者手帳等のお手帳をお持ちの方とその付添いの方(1名まで)・高校生以下の方は、日時指定予約は不要です。高校生以下の方は、日時指定予約は不要です。直接会場入口にお越しください。

※高校生、大学生・専門学校生、65歳以上の方、各種お手帳をお持ちの方は、いずれも証明できるものをご提示ください。

※毎月第3 土曜日・翌日曜日は家族ふれあいの日により、18歳未満の子を同伴する保護者(都内在住、2名まで)は一般通常料金の半額(住所のわかるものをご提示ください)。日時指定予約不要、販売は東京都美術館チケットカウンターのみ。

※無料観覧券をお持ちの方は、日時指定予約不要でご入場頂けます。ご入場当日に利用期間内の無料観覧券を必ずご持参ください。

※会期中1枚につき1人1回、観覧日当日に限り有効です。

※本展チケットは転売を禁止しております。不正に購入されたチケットに関するトラブルについては一切責任を負いませんので、ご注意ください。

※会場内の混雑等により、ご入場をお待ちいただく場合がございます。

※土、日曜日、祝日および会期末はご予約・ご購入いただけない可能性が高くなりますので、早めのご予約・ご購入をお勧めいたします。

※今後の状況により変更及び入場制限を実施する場合がございます。

※最新の情報を展覧会公式サイト(<https://miro2025.exhibit.jp/>)にてご確認ください。



【本展の見どころ】

- ①ミロの創作活動全体を振り返る大回顧展
- ②代表作の〈星座〉シリーズのうち3点が出品
- ③各時代を代表する名品が世界中から集結

※令和8年1月1日より現金での取り扱いができなくなります。事業の代金については、振込入金のみになります。

申込No : 2502-3

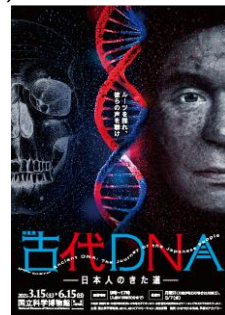
【展覧会】特別展「古代DNA—日本人のきた道—」

ホームページ 専用チケット

- 会 期 2025年3月15日(土)～6月15日(日) ※会期等に変更になる場合がございます。
休館日:月曜日、5月7日(水) ※ただし3月31日(月)、4月28日(月)、5月5日(月・祝)、6月9日(月)は開館
- 会 場 国立科学博物館(東京・上野公園)
- 開館時間 9:00～17:00(入場は午後4時30分まで)
※ただし毎週土曜日、4月27日(日)～5月6日(火・休)は午後7時まで延長(入場は午後6時30分まで)。
※常設展示は4月26日(土)～5月6日(火・休)は午後6時閉館(入場は午後5時30分まで)
それ以外の期間、常設展示は午後5時閉館(入場は午後4時30分まで)。
- 会員料金 ① 1,500円(通常料金2,100円)
② 400円(通常料金600円) 小・中・高校生
- 申込方法 mail(info@akishima-ksk.jp)でお申し込みください。(電話、FAX、受付不可)
①事業所名 ②会員氏名 ③連絡先 ④申込No.【2502-3】と区分Noと枚数
- 斡旋枚数 ①10枚(先着順) ②10枚(先着順)
- チケットのお渡し 申込の際、お伝えします。振込していただければチケットは郵送します。
入金確認後事業所へ郵送します。(振込料、送料分考慮し補助をしています。)

■注意事項

- ※会期、開館日、開館時間等に変更になる場合がございます。最新の情報を展覧会公式サイト(<https://ancientdna2025.jp>)または、国立科学博物館ウェブサイトにてご確認ください。
- ※本展は、ご入場に際して日時指定予約は不要です。ただし、会場内の混雑等により、ご入場を制限する場合があります。
- ※未就学児は無料。
- ※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料。
- ※会期中1枚につき1人1回、観覧日当日に限り有効です。
- ※学生証、各種証明書をお持ちの方は、入場の際にご提示ください。
- ※本展を観覧された方は、同日に限り常設展示(地球館・日本館)もご覧いただけますが、常設展示の開館時間内に限ります。
- ※会期中1枚につき1人1回、観覧日当日に限り有効です。
- ※一度購入されたチケットのキャンセル・券種変更・払い戻し・再発行はいたしません。再入場はできません。
- ※本展チケットの転売を禁止しております。不正に購入されたチケットに関するトラブルについては一切責任を負いませんので、ご注意ください。
- また、不正に購入されたチケットであることが判明した場合は入場はお断りします。
- ※会場の混雑状況などは、公式Xでご案内します。
- ※ご来場の場合は、下記の諸注意事項に合意したものとみなします。予めご了承ください。
- ・ペット(昆虫類含む)を連れての入館はご遠慮下さい。(身体障害者補助犬(盲導犬、聴導犬、介助犬)の入館は可能です)
- ・危険物、火気の持ち込みはお断りします。
- ・お酒に酔った方入館はお断りします。
- ・ご飲食・喫煙は決められた場所で行います。
- ・一部写真撮影禁止の展示があります。また、会場内でのフラッシュ撮影、三脚・一脚・自撮り棒の使用および動画撮影は禁止です



【本展の見どころ】

ルーツを探れ。古代人の声を聴け。

日本各地の古人骨や考古資料、高精細の古人頭骨CG映像などによって、最新の研究で見えてきた遥かなる日本人のきた道と、集団の歴史が語る未来へのメッセージを伝えます。

※令和8年1月1日より現金での取り扱いができなくなります。事業の代金については、振込入金のみになります。

申込No : 2502-4

【展覧会】 相国寺承天閣美術館開館40周年記念相国寺展—
金閣・銀閣 鳳凰がみつめた美の歴史

ホームページ
専用チケット

■ 会 期 2025年3月29日(土)～5月25日(日)
※会期中、展示替えあり
前期 3/29(土)～4/27(火・祝) 後期 4/29(火・祝)～5/25(日)
休館日:月曜日、5月7日(水)
※ただし3月31日(月)、4月28日(月)、5月5日(月・祝)、6月9日(月)は開館

■ 会 場 東京藝術大学大学美術館(台東区・上野公園)

■ 開館時間 10:00～17:00(入館は閉館の30分前まで)

■ 会員料金 1,400円(通常料金2,000円)

■ 申込方法 mail(info@akishima-ksk.jp)でお申し込みください。(電話、FAX、受付不可)
①事業所名 ②会員氏名 ③連絡先 ④申込No.【2502-4】と枚数

■ 斡旋枚数 10枚(先着順) ■ チケットのお渡し 申込の際、お伝えします。振込していただければチケットは郵送します。
入金確認後事業所へ郵送します。(振込料、送料分考慮し補助をしています。)

■ 注意事項

※中学生以下は無料。障がい者手帳をお持ちの方とその付添者1名は無料。それぞれ入館の際、窓口で学生証、障がい者手帳等をご提示ください。
※会場の混雑状況によっては、入場までお待ちいただく場合がございます。また、混雑状況によっては入館できない場合もございます。あらかじめご了承ください。

※会期中1枚につき1名様1回限り有効

※本券の変更・払戻・再発行は致しません

※今後の諸事情により、開館日、開館時間等を変更する場合がございます。最新情報は、展覧会公式サイトにてご確認ください。

展覧会公式サイト:<https://shokokuji.exhn.jp/>



【本展の見どころ】

雪舟から応挙、若冲へ 受け継がれる名品——そこに物語があった相国寺は、室町幕府三代将軍・足利義満(1358～1408)が永徳2年(1382)に発願し、京五山禅林の最大門派であった夢窓派の祖・夢窓疎石(1275～1351)を勧請(かんじょう)開山に迎え、高弟の春屋妙徳(1311～1388)を実質上開山とし創建された禅宗の古刹です。今も京都の地、御所の北側にその大寺の姿を誇り、金閣寺、銀閣寺の通称で名高い鹿苑寺、慈照寺を擁する臨済宗相国寺派の大本山です。創建から640年あまりの歴史を持つ相国寺は、時代を通じ、数々の芸術家を育て、名作の誕生を導いてきました。室町幕府の御用絵師とされる相国寺の画僧・如拙周文。室町水墨画の巨匠と称される雪舟。江戸時代の相国寺文化に深く関わった狩野探幽。そして、奇想の画家・伊藤若冲、原在中、円山応挙…。中世に規範を得た相国寺文化圏の美の営みは、近世、近代、現代へと時を繋ぎ、相国寺、鹿苑寺、慈照寺が所有する美術品は 相国寺境内にある承天閣美術館で公開されてきました。本展覧会は、相国寺承天閣美術館開館40周年を機に開催するものです。国宝・重要文化財40件以上を含む相国寺派の名品を中心に紹介し、相国寺の美の世界をみつめ、未来へ話します。

※令和8年1月1日より現金での取り扱いができなくなります。事業の代金については、振込入金のみになります。

展覧会【特別展】桜 さくら SAKURA 2025

—美術館でお花見！—

ホームページ

専用チケット

- 会 期 2025年3月8日(土)～5月11日(日) 休館日:月曜日 [5/5(月・祝)は開館]
- 会 場 山種美術館
- 開館時間 10:00～17:00(入館は16:30まで)
- 会員料金 1枚 700円(通常料金1,400円) 中学生以下無料(付添者の同伴が必要です)
- 申込方法 mail(info@akishima-ksk.jp)でお申し込みください。(電話、FAX、受付不可)
①事業所名 ②会員氏名 ③連絡先 ④申込No.【2502-5】と枚数

■ 幹旋枚数 10枚(先着順)

■ チケットのお渡し 申込の際、お伝えします。振込していただければチケットは郵送します。
入金確認後事業所へ郵送します。(振込料、送料分考慮し補助をしています。)

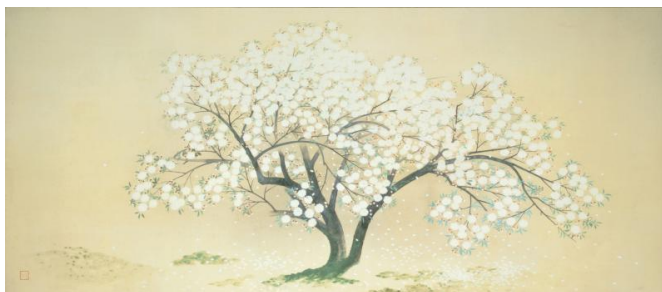
■ 注意事項 春の学割 大学生・高校生500円
※障がい者手帳、被爆者健康手帳をご提示の方、およびその介助者(1名)一般1100円
※きもの特典:きものでご来館のお客様は、一般200円引きの料金となります。
※複数の割引・特典の併用はできません。
入館日時のオンライン予約も可能です(詳細は当館Webサイトをご覧ください)。
最新情報は、展覧会公式サイトにてご確認ください。
展覧会公式サイト<https://www.yamatane-museum.jp/>



小茂田青樹 《春庭》
1918(大正7)年 絹本・彩色
山種美術館



横山大観 《山桜》
1934(昭和9)年 絹本・彩色
山種美術館



小林古径 《清姫のうち「入相桜」》
1930(昭和5)年 紙本・彩色
山種美術館



川合玉堂 《春風春水》
1940(昭和15)年 絹本・彩色
山種美術館

【本展の見どころ】

明るい陽光が降り注ぐ春。桜の名品を一堂に展示する展覧会を開催します。現代に生きる私たちにとって、春の訪れを感じる事柄の一つに、桜の開花予想のニュースがあげられるでしょう。その報せを聞くと今か今かと桜が開くのを待ち望み、咲けば花見に行きその咲き誇る様子を楽しみ、やがて散りゆく姿に思いを寄せます。また、古くから日本人に愛されてきた桜は詩歌に詠まれ、調度や衣装などの文様に表されるとともに、絵画にも盛んに描かれてきました。桜を愛でる人々を描いた物語絵や風俗画から、奈良の吉野など、桜の名所を舞台とした名所絵や風景画、そして花が主役となる花鳥画や花卉かき画まで、さまざまなジャンルで絵画化され、時代とともに多彩な表現が展開しています。

近代・現代の日本画においても、桜は重要な題材であり続けました。歴史や物語の一場面で桜を印象的に表した守屋多々志《聴花(式子内親王)》や小林古径の《清姫》「入相桜」は、過去の時代をテーマとする中で桜が効果的に用いられています。また、満開の桜を描いた奥村土牛《吉野》や稗田一穂の《惜春》(個人蔵)には、桜の咲く光景が描写されるだけでなく、桜に対する画家それぞれの思いまでもが映し出されています。さらに、夜桜をクローズアップして幻想的に描き出した速水御舟《夜桜》をはじめ、桜そのものを主題とした作品では、画家の個性や美意識が反映され、日本画の表現の幅広さをみてとることができます。

あわせて、枝垂れ桜を題材にした奥村土牛の畢生の名品・《醍醐》の制作時、画家が写生した醍醐寺「太閤しだれ桜」を組織培養で増殖した「太閤千代しだれ」も、美術館の入り口でご覧いただけます。

2025年春、山種美術館は名だたる日本画家たちによる桜の絵画で満開となります。会場でお花見を楽しみながら、季節を満喫していただければ幸いです。

※令和8年1月1日より現金での取り扱いができなくなります。事業の代金については、振込入金のみになります。